



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年6月15日朝刊 東部版

沼津・内浦、西浦の魅力発掘

小中学生情報誌発行へ

プロジェクトの趣旨などを確認したオリエンテーション
沼津市の内浦地区センター



沼津市内浦・西浦地区の小中学生がプロに学びながら地元の情報誌を制作する本年度の「こどもローカルマガジンプロジェクト」が13日、始まった。初日はオリエンテーションが同市の内浦地区センターで開かれ、子どもたちが記者やカメラマンとしての心得などを学んだ。

取材や誌面制作 プロに学ぶ

本年度は長井崎小中一貫校の児童生徒21人が参加する。地元で活動する記者やカメラマン、デザイナーらのアドバイスを受け、漁師や移住者にインタビューをしたり、特産のミカン収穫を体験したりしながら地域の魅力を発掘していく。自分たちで記事を書くなど誌面制作に取り組み、来年2月に情報誌を発行する予定。

オリエンテーションでは、プロジェクトの目的やスケジュール、役割分担などを確認し、撮影体験や模擬インタビューにも挑戦した。

- ① 小中学生は地元の情報誌を制作することで何を学びますか。
()
- ② 小中学生はどんな人たちにアドバイスしてもらいますか。
()
- ③ 情報誌を制作するために小中学生はどんなことをしていく予定ですか。
()
- ④ あなたが「地元の情報誌」を制作するとしたら、あなたが住む地域のどんなことを記事にしたいですか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

た。同校8年の林和花さん(13)は「地域のことを詳しく知りたくて参加した。普段でできない体験をしてみたい」と意気込んだ。
同プロジェクトは地元の農業、漁業、観光業関係者らでつくる運営協議会が主催し、本年度で2回目。
(東部総局・山川侑哉)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/国語、社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年6月15日朝刊 東部版

沼津・内浦、西浦の魅力発掘

小中学生情報誌発行へ

プロジェクトの趣旨などを確認したオリエンテーション
沼津市の内浦地区センター



沼津市内浦・西浦地区の小中学生がプロに学びながら地元の情報誌を制作する本年度の「こどもローカルマガジンプロジェクト」が13日、始まった。初日はオリエンテーションが同市の内浦地区センターで開かれ、子どもたちが記者やカメラマンとしての心得などを学んだ。

取材や誌面制作 プロに学ぶ

本年度は長井崎小中一貫校の児童生徒21人が参加する。地元で活動する記者やカメラマン、デザイナーらのアドバイスを受け、漁師や移住者にインタビューをしたり、特産のミカン収穫を体験したりしながら地域の魅力を発掘していく。自分たちで記事を書くなど誌面制作に取り組み、来年2月に情報誌を発行する予定。

オリエンテーションでは、プロジェクトの目的やスケジュール、役割分担などを確認し、撮影体験や模擬インタビューにも挑戦した。

- ① 小中学生は地元の情報誌を制作することで何を学びますか。
(**地域の魅力** **誌面制作の仕方**)
- ② 小中学生はどんな人たちにアドバイスしてもらいますか。
(**地元で活躍する記者やカメラマン、デザイナーら**)
- ③ 情報誌を制作するために小中学生はどんなことをしていく予定ですか。
(**漁師や移住者へのインタビュー、特産のミカン収穫体験など**)
- ④ あなたが「地元の情報誌」を制作するとしたら、あなたが住む地域のどんなことを記事にしたいですか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) お城が注目されているので、今も残る城跡を調べて記事にしたい。(30字)
メロン農家にインタビューして、特産のメロンの記事にしたい。(29字)
地元の誇りでもある龍勢という伝統行事を取材して記事にしたい。(30字)

など

た。同校8年の林和花さん(13)は「地域のことを詳しく知りたくて参加した。普段できない体験をしてみたい」と意気込んだ。
同プロジェクトは地域の農業、漁業、観光業関係者らでつくる運営協議会が主催し、本年度2回目。(東部総局・山川侑哉)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/国語、社会、総合)